

2024事業年度第1回定時評議員会議事録

1 開催日時 2024年6月27日(木) 14時00分～14時45分

2 開催場所 宇部市渡辺翁記念会館 1階 会議室

3 評議員現在数及び出席評議員数並びにその氏名

評議員現在数 5名

出席評議員数 3名

出席した評議員の氏名 福田隆眞 曾我一仁 脇 和也

欠席した評議員の氏名 二木寛夫 野口政吾

4 出席した理事及び監事の氏名

出席した理事の氏名 渡邊祐二 小林 薫

出席した監事の氏名 大本理恵

欠席した監事の氏名 片岡謙蔵：本業である会社業務のため

5 議長の氏名 脇 和也

6 議事録署名人の氏名 福田隆眞 曾我一仁

7 議事

第1号議案 2023事業年度の事業報告について

第2号議案 2023事業年度の収支決算について

8 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

評議員5名のうち、過半数以上が出席しているため、本定時評議員会は適法に成立。

定款第21条に基づき、脇評議員が議長に就任した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

第1号議案 2023事業年度の事業報告について

第2号議案 2023事業年度の収支決算について

議長の求めに応じ、事務局より2023事業年度の事業報告並びに収支決算について2件一括で説明があり、引き続き、大本監事より監査方法の概要及び監査意見として、事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めること、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められないこと、また、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、財団の財産及び損益の状況を適正に表示しているものと認める旨の監査報告があった。

その後、議長により出席評議員に質疑等の意見がないか求めたところ、下記のとおり質疑があった。

福田評議員

事業の内容について、集客率、経費状況はだいぶ良くなってきており頑張っておられると思います。当たるかなと思った事業が当たらなかったりと、市民の方が求めている事業を行うのはなかなか難しいと思います。そういう状況の中で、落語は経費が比較的安く集客もよいので山口市等でも行っていますが、日本の文化の継承みたいなところがあり良いと思います。

また、アートコミュニケーター、アートマネージャー等も少し先のことを考えれば、こういう人達が増えていって理解をしてもらうということは大事なことです、講師の黒田百合さんとはどのような方ですか。

事務局（河内）

演劇の演出、脚本をされている傍ら、Ten seeds（テン・シーズ）という団体を作られていて、表現を使って遊びながら自然と生まれてくるコミュニケーションを大事にするワークショップをされている方です。

福田評議員

コミュニケーションという言葉は範囲が広くて難しいので、日本語で何か良い表現があればと思います。最近カタカナが多くてわかりにくいので、宣伝の仕方とか理解を進める方向で言葉を考えた方が良いと思います。

事務局（河内）

コミュニケーションワークショップという表現がみなさんに伝わり難く、現場に行くと、障害を抱えた方達の変化を実感するとよくわかるのですが、その辺りをどう表現していくかと現場にどれだけ入れるかが大切だと考えます。

アートマネージャー養成講座卒業生の Seeds of joy（シーズ・オブ・ジョイ）という団体を、黒田さんの団体が Ten seeds、10個の種ということで、その一つをもらってそれをもとにみなさんに喜びを届けようという意味で作っているの、その人達がたくさんの現場に行くと広めていき、色々な所から来てもらいたいという声が出れば良いと思います。

福田評議員

あと、アートコミュニティ構築促進事業の基礎講座に応募者がいなかったのはなぜですか。

事務局（河内）

私共の広報の仕方も良くなかったと思うので、これからどう伝えていくか需要も含めて考えていかないとはいけません。

福田評議員

収支決算について、収益は増えたということですね。

事務局（常務理事兼事務局長 小林）

自主文化事業に関しては増えております。

福田評議員

公益財団になったから収益を上げられる部分は増えていくと良いと思います。

あと、正味財産増減計算書で、事業費と管理費にわけているのはなぜですか。

事務局（常務理事兼事務局長 小林）

事業費は公益目的事業と収益事業にかかった経費で、管理費は法人の運営にかかった経費です。

事務局（家城）

表示方法が公益法人会計基準の様式で決まっており、公益目的事業、収益事業、法人会計とあり、法人会計が管理費となっております。そして共通的にかかる経費に関しては公益認定時に設定した割合で配賦する必要があり、その配賦した金額となっております。

協議長

今、子育てのことで「こどもまんなか」という言葉が出ておりますが、次世代育成事業は今の時代に的を射た事業だと思います。子ども文化夢教室に関しては学校ごとに募集するのでしょうか。

事務局（河内）

市内24校をスポーツと文化に分けて、その年の文化の12校が決まったら、講座、講師の案内を各校に行い希望を募ります。

協議長

日本舞踊はお師匠さんが高齢化しており、これからどうなるのか心配ですが、これだけの子どもが参加してくれるのはすごいことです。

事業自体はすばらしく宇部の目玉になり得るものであると思いますが、特定の学校だけにならず、興味を持った子ども達ができるだけ多く参加できるよう、特にダンスはすごいブームだと思うので、その辺り子どもの目線に立って工夫があれば良いと思います。

事務局（河内）

他にも私共の事業で子ども課外クラブとか子ども伝統文化わくわく体験学校等も行いますが、学校現場も忙しいため、協力できる範囲でということになっております。

協議長

年々参加者が増えるように期待しております。

福田評議員

次世代育成について、財団を作る時のポリシーの話で、今の文化の賑わいと将来のことを考えて次世代に種をまいておこうというものがありました。広島や岡山みたいな規模になると市内の小中学校に財団が出向いて講座をするというのはなかなか難しいですが、この規模だからできるところを生かし、小中学生に文化に触れ合ってもらうことで、その子ども達が大人になった時にその何人かでもそこに興味が行くかもしれないので、スタッフも限られており大変ですが、子ども達が色々な体験ができるようぜひ続けてもらいたい。

事務局（河内）

鑑賞事業においても小中学生の招待を毎年考えており、2023年度は200人程の招待をしており、今後も継続していきたいと考えております。

福田評議員

あしながおじさんもインクルーシブで実践されていて良いと思います。

協議長

日本ユネスコがあしながの事業に注目してくれたようなので引き続きよろしくお願
いします。

他に質疑等がなかったので、賛否を諮ったところ、各議案については次のとおりとなった。

第1号議案 2023事業年度の事業報告について

原案どおり出席評議員全員異議なく承認可決した。

第2号議案 2023事業年度の収支決算について

原案どおり出席評議員全員異議なく承認可決した。

以上をもって議案の審議を終了したので、14時45分に議長は閉会を宣言し、解散した

この議事録が正確であることを証するため、議長及び出席した評議員から議事録署名人として選出された福田隆眞評議員、曾我一仁評議員は記名押印する。

2024年6月27日

議 長 脇 和 也

議事録署名人 福 田 隆 眞

議事録署名人 曾 我 一 仁